（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	レジリエンス・スポーツクラブ			
○保護者評価実施期間	2025年1月28日	～	2025年3月15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	148	（回答者数）	66
○従業者評価実施期間	2025年3月28日	～	2025年3月29日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンでの運動療育により、こども一人ひとりに合った内容のプログラムを提供が可能となり、成功経験から自信につなげることができている。	・こどもの得意、不得意を見極め、目標をクリアするために必要なスキルを一緒に考え、スモールステップで成功できるよう工夫している。 ・場の共有からペアレッスンを促し、集団スポーツや複雑なルールのあるスポーツに取り組めるよう工夫している。	小学生から18歳が通所しており、年齢によって運動発達の違いが顕著に出るため、定型発達の基準を知り、こどもの今の状態に合った運動内容を提供できるように職員研修を充実させていく。
2	マンツーマン型の集団療育により、集団場面での苦手さがあるこどもにも、丁寧に対応して成功経験につなげることができている	・ミニスポ（小集団）で学校体育種目や球技、小集団遊びを開催している。 ・事前に一人ひとりの課題を確認し、集団場面の中でもマンツーマンで取り組むことで集団場面の苦手さがあるこどもにもスモールステップで成功につながるように工夫している	参加されるこどもの状況や個別レッスンで感じた課題を共有し、集団の中での課題やサポート方法を綿密に打ち合わせをすることでより充実した集団レッスンにしていく。
3	レッスン中に保護者との情報共有や必要に応じて相談援助を直接行い、関わり方や課題を共有する場を設けている。	・レッスン開始前に現在の状況をこども本人、保護者と情報共有しタイムリーな支援を行っている。 ・レッスン中の様子やスタッフが取った手立てで、本人がどういった反応を示したかで、今後の手立てを共有している。	こどもの支援内容の情報共有を行う、つながった支援。前回より今回、今回より次回とステップアップができる支援をしていけるように職員間で連携をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの好きな種目が限られていると、プログラムが固定化してしまう場合がある。	・本人に種目を選んでもらうスタイルのため、同じ種目を選択しがちになることもしばしばある。 ・こどもによって声かけの仕方によってはリクエストを受け入れづらい場合もあるため、スタッフ側の知識や事前情報が必要になってくる。	個別支援計画や過去の支援記録を見返し、同じ種目を選んでしまうこどもに関しては、スタッフが受け身になるだけではなく、積極的にリクエストしたり、本人が意欲的に挑戦できるようなアプローチをしていく。
2	学童クラブや保育園など地域との交流する機会が限られている。	・スクールやサークル等で地域のこどもにも参加する機会を設けているが、スクールやサークルに参加していないこどもが交流する機会が設定できていない。 ・個別療育や広域から通所している特徴があり、それぞれの地域で活動する集団との交流内容の調整が容易ではない。	・スクールやサークルの幅を広げ、参加の選択肢を増やす（令和7年度より野球スクール創設を計画中）。 ・西原町内など地域のイベント等へ関わる機会（既存イベントへの参加・地域を対象としたイベントの主催）を模索する。
3	こどもの情報・これまでの支援過程について十分な共有が行えていない。	・同時に複数のマンツーマンレッスンを行っており、担当以外のスタッフが把握できない場面が多い。 ・時間ごとの予約枠が続き、レッスン前後に共有する十分な時間が確保できていない。	・継続して支援している情報を次回の担当者へ引き継げるよう、方法（記録・口頭など）をより密に行う。 ・レッスン時間の調整を行い、職員間の情報共有に加えて本人や保護者との振り返りに充分な時間を確保する。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	レジリエンス・スポーツクラブ（たいよう）

公表日 令和7年　3月　31日

利用児童数 148名（たいよう）　回収数 99名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	98	1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	99				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	93	5	1	2階の窓開けたらすぐに落ちそうなので鉄格子等あれば安心	・窓の網戸は開閉ができないよう固定されておりますが、より安心してレッスンできる環境づくりのために順次安全柵の設置を予定しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	98	1			
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	96	3		入室時に嬉しすぎて興奮していますが、少し冷静さを維持する練習も必要になってきましたので、取り組むようにしています。他の施設に入る際、どうするべきか、のイメージを想起させてみたり、とう成長に応じてやるべき事が出てきたので、待たせる練習も含めて最近、家庭で取り組んでいます。 暗黙の了解で待つ時間が苦手な為、待てた時に反応していただけるとありがたいです。 人が考えたり黙っている時、話をしている時に体を向けて待つ。聞く姿勢。(本人も納得しています) 小さな緊張を無理なくキープ出来るように。アイドリング時間をつくるイメージです。 切り替えは出来るようになってきているので、本人の課題に応じて、指導者(一緒にやる人と)アイデアを出しながら課題三つ分を先に計画して実行する力もつけられたら、と思います。	モニタリング時に本人の特性や課題を伺いしており、事前に種目内容を決定するなどお子さんに応じて個別で実施しています。また「待てた時の反応」など、望ましい行動がみられた際には定着できるような対応を職員一同再確認いたしました。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	98	1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96	3		いつも丁寧なヒヤリングと読み合わせに感謝しています。ただ、開始が遅すぎる（計画と結果がほぼ同じタイミング）ので、早めに計画作成を希望します。	支援計画の開始が大変遅くなり申し訳ありません。現状のニーズに合わせた支援へつながるよう、モニタリングや作成を計画的に行えるシステムを整え、早めのご案内を徹底してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	97	2		以前より先生達の共有ができていますし、児に有益な提供を感じています。ただ、ある課題達成において、途中までできていたのに振り出しに戻ることがあり、継続した支援を望みます。	継続した支援が徹底できておらず申し訳ありません。これまでの支援過程を担当職員間で共有する時間を確保し、課題達成に向けて継続した支援を提供できるよう再確認しました。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	レジリエンス・スポーツクラブ（たいよう）

公表日 令和7年　3月　31日

利用児童数 148名（たいよう）　回収数 99名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	98	1		困り事を一緒に考えたり、様々方法で取り組んでくれたり、アイデアをいただけるのは心強いです。 活動を通して、子どもの不得手な部分を見極めて支援してくださる。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	96	2	1	同じ用具を使用しても、毎回違う用具を組み合わせたりと工夫されている。 様々な種目があり、本人の目に留まらないような種目でも、その時の様子を見ながら提案してもらえます。 本人が同じ種目をやりたがるところがある	個別レッスンの内容は本人の主体性を尊重していますが、本人のニーズに加え、コーチ提案など工夫しながら幅広く取り組めるよう配慮します。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	38	36	25	きょうだい児も参加できるサークルがあるのは良いと思う　地域の子供との活動は？まだまだ感染症などの流行に配慮しながら行ってほしい ありがたいことに、遊ぶ手立てが多いので、概ね友達との遊びも充実しています。交流を実施しているかどうかがわかりません。	スクール（サッカー・バスケ）にて、レジスポ利用の有無に関わらず地域のこどもたちも募集対象となっており一緒に活動できる機会を設定しています。継続して募集を行っていきます。サークルに関しては令和7年4月からしばらく休止となり、体制が調整でき次第再開予定です。
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	99			毎回活動の内容を丁寧に説明してくださる。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	98	1		毎回、丁寧に説明してもらっています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	94	5			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	97	2		利用する度に、何か変わった事はないか等、声をかけてもらっています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	94	4	1	困りごとなどあれば相談し、アドバイスしていただける。 可能であれば半年に1度でも希望する親に面談があると嬉しいです。 レッスン時間中でもよいので別室だと助かります。	レッスン中はもちろん、レッスン時以外でもご希望に応じて来所相談等に対応しております。ご希望がありましたらお気軽にご連絡ください。別室での面談も体制によっては可能ですので、事前にお知らせください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	98	1		いつもありがとうございます。	

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	レジリエンス・スポーツクラブ（たいよう）

公表日 令和7年　3月　31日

利用児童数 148名（たいよう）　回収数 99名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	88	11		保護者等に参加するタイミングが合わせられない為、イベント等の様子が分からないので、どちらともいえないとしました。 なかなか参加は出来ませんが、学校での活動を念頭に入れていただいたり、日常の過ごし方にも心を配っていただいているのを充分感じます。心から感謝申し上げます。	保護者同士の交流機会として保護者懇談会をテーマを変えて定期的に開催しています。今後も開催方法や日時を変えて参加しやすいよう配慮いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	96	3		LINEで相談し、即お返事いただけまときは本当に助かりました。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	98	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	98	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	98	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	82	17			・各種マニュアルについてはレッスン室の保護者席近くにファイリングしております。ご利用の際にご確認ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	70	29		すみません、あまり行けていないので、よくわかりません。	主に平日早い時間、定期的に実施しております。その際にご予約がある場合は訓練へのご協力をお願いします。また、避難訓練の様子についてはHUG（活動記録）に掲載していますので、ご確認ください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92	7			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	87	12		怪我をした事がないので分からないです 体験したことがないのでわからない。	保護者同席の際にはその場で状況説明や必要に応じて応急手当など対応を行っております。ケガや事故が起こらないように、職員間で想定されることを共有させていただいています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	96	3		不安感が強い子なので、もっと時間がかかると思いましたが、すぐ慣れて、先生方のおかげで安心している様子がよく分かります。 急な予約にしても、掲示には名前書いてて欲しい。 いつもある名前が無いと不安になりパニックになるから。利用時のコンディションが悪くなる。	ご意見ありがとうございます。直前にご予約いただいた際にも安心して入室いただけるよう、お名前の掲示徹底を職員間で再確認いたしました。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	レジリエンス・スポーツクラブ（たいよう）

公表日 令和7年　3月　31日

利用児童数 148名（たいよう）　回収数 99名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	96	3		いつもとても楽しみにしています。 以前はただ楽しんでいる様子だったが、最近は自身の苦手なところや体育でできなかったことなどを、練習できる。教えてもらえている。これからも教えてほしい感じてとりくんでいる。 次はいつ行けるのか確認して、心待ちにしています。利用回数も月３回から月４回に増やしたいと本人が希望するほど、楽しみにしています。	ご意見ありがとうございます。月の利用日数については、より多くの方が利用できるよう制限を設けております。限られた利用で満足いただけるような支援を行っていきますので、ご理解ご協力のほどお願いします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	98	1		いつもお世話になっております。子供のできることが増え自信につながっています。支援に感謝しています。 いつも寄り添い、本人の力に合わせた指導をしてくださってありがとうございます。活動を通してしか気づかないところも多々あるので、とても心強いです。これからもよろしくお願いします。 いつも素晴らしいサポートをありがとうございます。この短期間で本人が前向きな考えと行動ができるように変化したのは、先生方の支援のおかげです。ありがとうございます！	体を動かす楽しみを知り、成功体験から自己肯定感を高め、様々なことに挑戦できるよう支援していきます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	レジリエンス・スポーツクラブ（がじゅまる）

公表日 令和7年　3月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	1	サブがいない時がある。もっと人が必要。	配置基準を満たした職員数ではありますが、急遽の休みが出た場合サブの対応が難しいことある為、職員の配置方法については不測の事態に対応できるよう配慮いたします。 職員の募集も引き続き行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・空気清浄機のフィルター清掃は必要かな。 ・床のゴミが気になる。	レッスン終了時・開所時に清掃を行っていますが、随時床に落ちているごみは各自拾う自覚が持てるよう指導を徹底していきます。また、フィルターを含め広範囲の清掃を全職員で行っていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	振り返りの時間がなかなかとれない。	レッスンの終了時間によっては次のレッスンが始まる場合があるので、時間通りにレッスンを開始・終了できるよう心がけます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	保護者向け評価表が何かよくわからない。	毎年の保護者向け事業所評価に加え、6か月に1回のモニタリング等で評価やご意見を伺っております。内容はHPにて公開をしておりますが、その内容を全職員で共有することを徹底していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	意見交換する時間はなかなか取れない。	勤務時間のほとんどをサービス提供時間（直接支援）として設定しているため、共有時間の確保と限られた時間で共有できる方法を模索しております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	外部から評価を受けていない。	現在、既に第三者委員会を設置しております。ただし、外部評価についてはまだ受けていないため、今後は実現していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	間に合っていない。	対応が追いついていないこともありますが、計画的にアセスメント及び支援計画を作成できるよう体制の構築を検討することを考えています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	レジリエンス・スポーツクラブ（がじゅまる）

公表日 令和7年　3月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	もっとワークやレッスンの練習を入れてもいいなと思います。	職員間で新たなプログラム（支援内容等）の立案や支援の質向上に向けたワークや研修を実施しやすいよう、体制を含め調整を行っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		勤務時間のほとんどをサービス提供時間（直接支援）として設定しているため、共有時間の確保と限られた時間で共有できる方法を模索しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	4	1		勤務時間のほとんどをサービス提供時間（直接支援）として設定しているため、共有時間の確保と限られた時間で共有できる方法を模索しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	・計画が遅れがち。 ・モニタリングが間に合っていない。	対応が追いついていないこともありますが、計画的にアセスメント及び支援計画を作成できるよう体制の構築を検討することを考えています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	あまりわからない。	送迎を行っていないため、送迎に関する学校との情報共有は行っていません。保護者や担当者会議等を通して学校との連携を積極的に行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	あまりわからない。	管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参加して情報共有しています。今後は会議内容の共有をより充分行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		管理者や児童発達支援管理責任者を中心に会議へ参加もしくは文書などで情報共有を実施しました。今後は参加した会議や文書の内容についての共有をより充分行っていきます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	レジリエンス・スポーツクラブ（がじゅまる）

公表日 令和7年　3月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	2		西原町内には児童発達支援センターが設置されていませんが、レジスポセンターのある浦添市の児童発達支援センターと連携して保護者懇談会を実施しました。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		サークルやスクール活動で地域のこどもを受け入れております。また、地域のスポーツクラブとのスポーツ交流ができるように企画調整していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		西原町の自立支援協議会こども部会へ参加している。今後は参加した内容についての共有をより充分行っていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	地域住民との関りはない。	今後、地域のスポーツクラブとのスポーツ交流ができるように企画調整していきたいと思います。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	レジリエンス・スポーツクラブ（がじゅまる）

公表日 令和7年　3月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	2.3か月に１回、スタッフだけでもいいので、増やしてもいいかもしれない。	利用しているこどもを含め避難訓練等を定期的に実施していますが、職員の対応力強化を図るため、回数を増やせるよう検討していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		